

別紙 1 - 1

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	甲	第
------	---	---	---

氏 名 K.M. Saif-Ur-Rahman

論文題目

Association of anthropometric indices of obesity with hypertension among public employees in northern Ethiopia: findings from a cross-sectional survey

(肥満に関する身体計測指標と高血圧の関連：エチオピア北部地方の公務員における横断研究)

論文審査担当者 名古屋大学教授

主査 委員 若井建志
名古屋大学教授

委員 山本英子
名古屋大学教授

委員 室原豊明
名古屋大学教授

指導教授 八谷 寛

論文審査の結果の要旨

別紙 1 - 2

エチオピア北部ティグレの 25 から 64 歳の公務員男性 823 人と非妊娠女性 557 人のデータの横断的検討をした。肥満の指標である Body mass index (BMI)、ウエスト周囲径、ウエストヒップ比の 3 つについて、収縮期血圧 140mmHg 以上または/かつ拡張期血圧 90mmHg 以上で定義した高血圧との関連性について交絡要因を調整した多変量ロジスティック回帰を用いて分析した。その結果、BMI は男女とも高血圧と直線的に関連していたが、ウエスト周囲径は BMI に独立して男女とも高血圧と正の有意な関連を示した。ウエストヒップ比は男性では BMI に独立して高血圧と正の関連を示したが、女性において関連は認められなかった。高血圧有病に対する予測能を検討したところ、BMI の AUC は男性で 0.64、女性で 0.67、ウエスト周囲径の AUC は男女とも 0.69 であった。本結果は、エチオピア北部公務員男女においてウエスト周囲径が高血圧リスクを識別するより有用な指標である可能性を示唆したと考えられた。

本研究に対し、以下の点を議論した。

1. 本研究の感度及び特異度に基づくと、BMI のカットオフ値として、男性では 23.7 kg/m²（それぞれ 0.60、0.61）、女性で 21.9 kg/m²（0.79、0.47）、ウエスト周囲径は、男性で 92.5 cm（0.62、0.70）、女性で 88.5 cm（0.61、0.64）が考えられた。ウエスト周囲径のカットオフは国際糖尿病連合が定める腹部肥満の基準値（男性 94 cm、女性 80 cm に比較的類似していた）。
2. エチオピアの保健省は、2019 年に世界保健機関及び国際非営利活動法人である Resolve to Save Lives と協力して、高血圧予防及び管理プロジェクトを開始したが、十分なサーベイランス体制は構築途上にあると考えられる。高血圧は心血管疾患の最も強い危険因子であり、また肥満は高血圧を含む心血管のその他の危険因子の改善可能な原因として重要なものであり、サーベイランス体制の構築と一次予防対策の普及が望まれる。本研究結果はそうした公衆衛生活動に貴重な情報を提供したと考える。
3. 本研究は、エチオピア北部の地方首都であるティグレの様々な公共サービスに従事する公務員を対象にした。地理的にエチオピアは南部と北部に分かれ、北部の研究がなかったため、本研究結果はこれまでの知見を補完する意義がある。また公務員の社会経済的地位はやや高いと考えられるため、一般の地域住民男女における検討が今後必要と考えられる。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	K.M. Saif-Ur-Rahman
試験担当者	主査	若井建志	副査 ₁	山本英子
	副査 ₂	室原豊明	指導教授	八谷 寛
<p>(試験の結果の要旨)</p> <p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 研究対象集団におけるBMI、ウエスト周囲径のカットオフ値について2. エチオピアにおいて実施されている高血圧予防に係るモニタリング／サーベイランスについて3. 研究対象集団の代表性について <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、国際保健医療学・公衆衛生学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				